

専門は社会政策、特に先進諸国の比較医療政策です。医療・福祉政策がどのような文脈で、どういう制度のもとで展開されているのかを検討し、よりよい議論の仕方を考えています。また日本・スウェーデン・イギリス・アメリカの医療・福祉制度を比較検討する研究を行っています。倫理、経済、政治などに関わり領域ですので、幅広く研究をすすめています。詳しくは個人ウェブをみてください (<http://bit.ly/ihpowiki>)。Twitter でも時々つぶやいています (@ihpo)。

### 1. 専門演習の目標

国際比較の中で医療・福祉政策を考え、調べ、議論し、自らの意見を構築することを通して、グローバル化の中で、日本の社会をとらえ、これからを展望する視点を培う。

### 2. 専門演習で扱う課題と内容

- 1) 特に、現在進行している財政危機・困難への対応について、イギリス、ドイツ、フランス、など西欧諸国と日本、韓国などアジア諸国との比較を中心に、医療・福祉政策のあり方を検討していきます。これには、財源、サービス供給、家族への支援、生命倫理など多様な論点に関わります。
- 2) 医療制度・福祉制度について、表面的に理解するだけでなく、その国の社会・経済との関わりで深く理解していくことを追求します。
- 3) 現在進行中のことですので、図書だけでなく、新聞、雑誌記事、論文、ウェブなど、いろいろな資料を活用します。

### 3. 授業の進め方・内容

ゼミ運営のモットーは、お互いの尊重、率直で真面目な話し合い、臨機応変、です。3-4回生の交流・相互刺激も追求します。以下は、例示です。

- 3回生前期—メンバーの問題関心を話し合いながら、医療・福祉政策の基礎について理解を深めます。また、国際比較の方法、その意味と注意点などについて批判的に考えながら、研究プロジェクトを立ち上げていきます。
- 3回生後期—研究プロジェクトをすすめます。文献や資料の分析が中心ですが、比較対象の中に日本を入れますので、その実態を知るためにフィールド・ワークの実施も考えます。

4回生前期—それぞれのテーマに関する文献を読んで議論しつつ、卒業研究の構想を報告し、その骨格を固めます。就職活動等の交流も行っています。

4回生後期—個別報告と指導・助言を行い、卒業研究を完成していきます。

### 4. 必要とする知識

入門的な社会保障、福祉国家についての知識があるといいでしょう。日本の医療や介護について知っていると、テーマを考えやすいでしょう。

### 5. 関連する分野・科目・知識

医療・福祉に関連するいろいろな授業で学んで下さい。

### 6. テキスト・参考書・機材 (受講生が標準的に持つもの)

池上直己『ベーシック 医療問題』(日経文庫)、ブルーノパリエ『医療制度改革』(文庫クセジュ)。他の文献は、授業で紹介していきます。日本語文献が中心ですが、短めの英語の文献にも挑戦します。

### 7. 受講生に望むこと

辞書や翻訳ソフトを使いつつ英語の文献を実際に読んで、自分の議論に使うということに挑戦してほしい。関心のある国については、社会・経済など幅広く学んでいってください。